



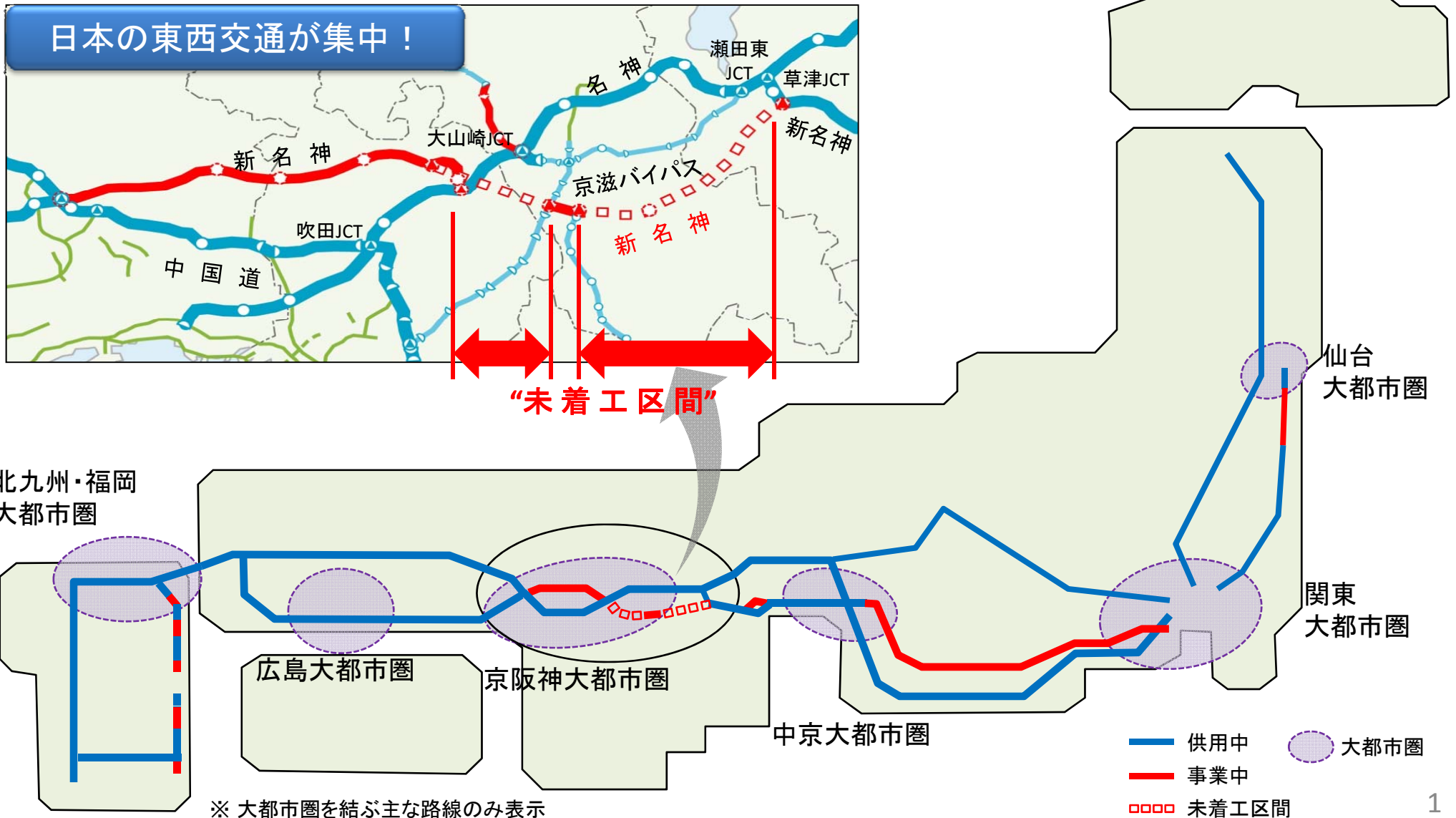
国土軸二重化に遅れ、名神の現状

2011年10月26日

西日本高速道路株式会社

国土軸のネットワーク整備

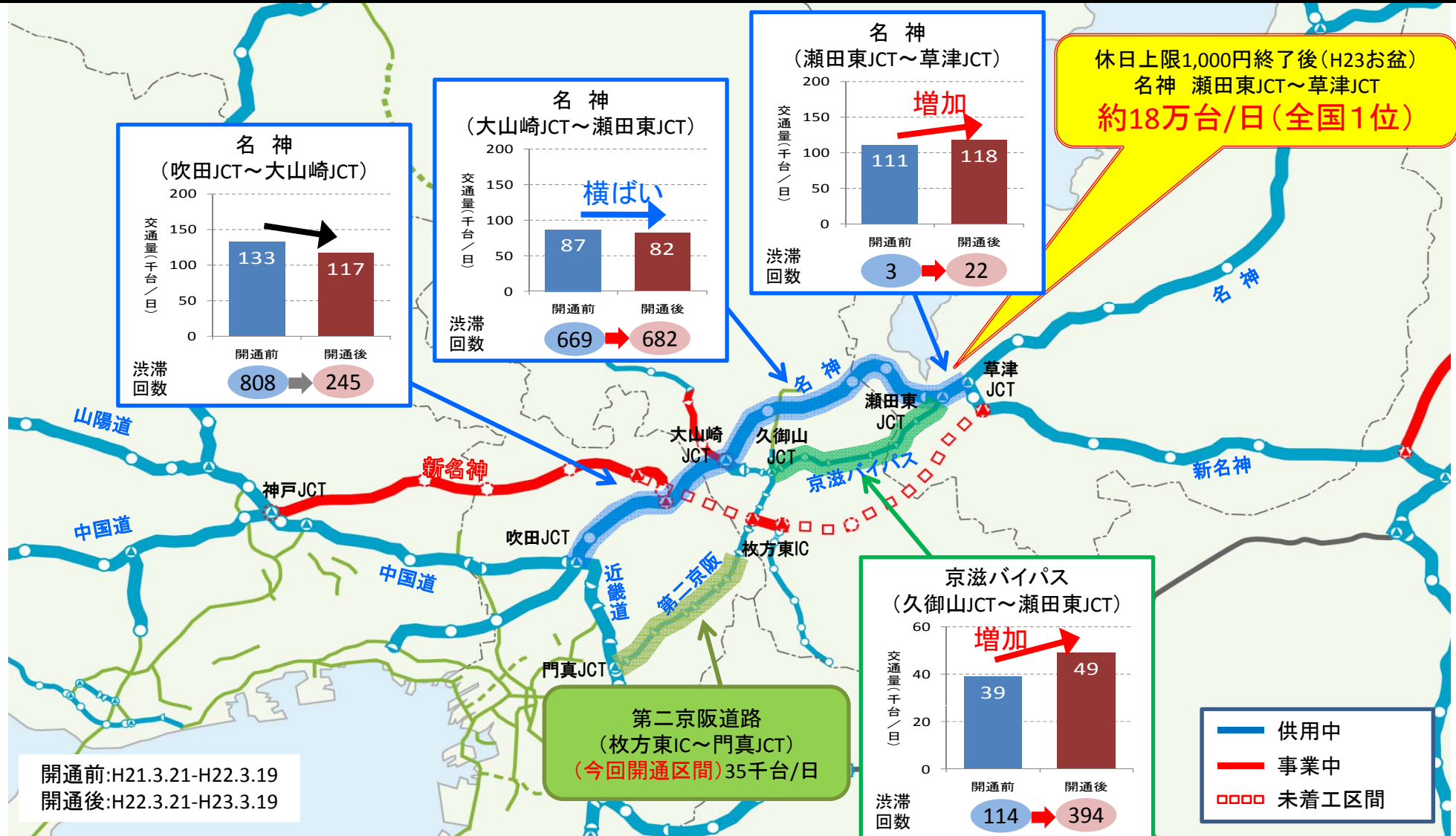
- 日本の背骨となる高速道路
 - ▶ ダブルネットワーク化(東名、名神、中国、東北道)
 - ▶ 「ボトルネック」が存在(新名神“未着工区間”)



名神等の交通状況

○ 第二京阪道路全線開通(H22. 3)後の周辺ネットワーク交通動向。

- ・ 名神の交通量・渋滞の減少は限定的であり、京滋バイパスを含めて渋滞が増加
- ・ 名神(瀬田東JCT～草津JCT)の交通量は全国1位を記録(休日上限1,000円終了後H23お盆)



名神の老朽化の現状

- 名神は日本初の高速道路として昭和38年開通 ▶ 供用後48年が経過
- 老朽化対策のリフレッシュ工事 ▶ 発生する大渋滞
- ※ 老朽化した橋梁のうち3橋は、10年以内に大規模補修が不可欠

■ 老朽化橋梁の補修が必要となる名神



■ 集中工事の状況

毎年集中工事を実施しているが、抜本的な改修工事は困難な状況



《中国道集中工事》



《名神集中工事》